

Title	英国の労働党は何を要求するや
Sub Title	
Author	堀江, 帰一
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1919
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.13, No.8 (1919. 8) ,p.1049(97)- 1060(108)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190801-0097">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19190801-0097</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

化學藥品商

小島義忠

東京市日本橋區本町  
三丁目八番地  
電話本局四六六五番  
振替東京一九〇九八番

化學器械

會社 小島器械店

電話本局五三〇七  
振替東京三五六一七

西洋御料理

慶應義塾正門前

本店 東洋軒

電話二、四三七番  
〇八七番

支店所在地

新橋驛樓上 東洋軒支店

日本橋村井ビルディング内

東洋軒支店

日本橋濱町 東洋軒支店

帝國劇場内 東洋軒支店

大阪料理店錦水内 東洋軒支店

雜 録

英國の勞働黨は何を  
要求するや

堀江 歸一

英國の勞働黨は近時に至るまで、職工組合、  
獨立勞働黨、フェビヤン結社、婦人勞働組合、  
三四の消費組合、職業會議并に地方勞働黨の聯  
合會に外ならざりき。其起るや、政治に關係せ  
ざる職工組合運動に基き、千八百九十九年職工  
組合會議に於て、議院に於ける勞働者代表議員  
を増加する手段を議する際に始まり。其後一  
年にして、議院に特別の勞働者團體を生じ、自  
ら指揮者を置き、又自己の政策を懷抱するに至  
れるが、次第に所屬者の數を増加し、千九百十

年の總選舉に於ては、下院に於ける勞働黨所屬  
議員の數を四十二名に達せしめ自ら政界に於て  
一の勢力を以て目せらるゝに至れり。然も尙ほ  
自己の立脚地に基きて、歴史的の二大政黨に對抗  
するには、其實力に足らざるものあるは勿論  
政黨の形態を備へたりと云はんよりは寧ろ勞働  
者團體と社會主義者團體との聯合に止まれり、  
即ちアーサー、ヘンダーソン氏が「若しも勞働  
にして社會に於ける秩序を新にするの意嚮を有  
せんか、其政治團體を改造し、民主政治に根據を  
置き、新政治的良心に依り、主義政策を律する國  
民的政黨たらしめざる可からず」と云へるもの、  
眞に勞働者團體の將來に嚮う可き方針を示した  
るものとするを得。固より上記の如き改造や新  
組織は今尙ほ完全に達成せらるゝに至らずと雖  
も、其主要の原則は明に指示せられたり。再び  
ヘンダーソン氏の言を藉りて之を説明す可し。

曰く。

新政黨が何を綱領とするやの概略は新聞紙に注意する者の推測する所なる可し。其綱領は要するに組織ある労働階級の運動を根據とし且つ腕力并に腦力を以て労働する各労働者に開放せらるゝ國民的民主政黨を組織するの一事に外ならず。此計畫の下に於て、労働黨は急速に、又靜肅に改造せられて、全國に亘る國民的政治團體と爲り、各地方の選挙區に支部を有し、労働者は勿論一般公民は其男女の別を問はず、之を支部員とす可し。蓋し政治上の民主主義は階級的利害を眼中に置き、成立する能はざるを以て、斯く其範圍を擴張するを必要とすればなり。而して各地方の支部より物質上并に精神上の援助を受くると共に、労働黨は所屬労働者の投票權并に代表權を尊重して、一の協議會を組織し、又地方にも同

## 二

英國労働黨の特別委員會は頃者黨の新綱領を制定し、次ひで年次大會の承認する所と爲れるが、其計畫する所は、(一)鐵道、運河、船舶、鑛山、電氣の國有、(二)運輸交通の機能を國民に普及し、且其中央并に地方に於ける經營に組織ある労働者を参加せしむること、(三)家庭用の石炭を分配する業務は公選地方議會をして其地方の爲めに行はしむること、(四)代價をして鐵道賃率と同じく確實ならしむること、(四)營利保險會社の國家收用、(五)戰時に行はれたるが如く、關係事業の聯合委員會に於て、原料品の統一的購買并に分配を行ひ、標準物資に對し、工場倉庫、小賣店舗に於ける最高價格を決定する從來の制度を決定することの諸點にして、同時に賃銀、住家、教育、休憩、健康、分娩準備、其他貧困、疾病、健康等に對する完全なる保證

様の機關を組織し、總て黨の綱領を承認し、其計畫に賛成する男女労働者を網羅することに依て、益々勢力を社會に張るを得べし。元來英國の労働運動は錯雜を極め、又多岐に渉るものありと雖も尙ほ或る趨勢の動かす可からざるものあり。其顯著なるものは純粹の職工組合主義より、更に社會主義的色彩を有する社會上并に政治上の活動に移りつゝあるの一事にして、今や社會主義的感情の昂進は事實に於て之を掩う可からず。現に千八百七十四年始めて労働者の議員候補者が選挙を争ひたる時より獨立労働黨組織の時に至るまで、社會主義の宣傳者は常に世上に白眼視せられたるに拘はらず、今日に於ては英國の労働政策に於て、フェビヤン結社、獨立労働黨の業績を閑却する能はざると共に、此運動に干與する人物に尊敬を拂はざる可からざるに至れり。

を與ふる生活状態の最小標準を厲行するの政策も亦必要とせられ、結局労働黨は(第一)國民的最小限度の一般的厲行(第二)産業の民主的管理(第三)國家財政の革命(第四)公共利益の爲めにする餘利財の利用を社會を建立する四個の柱に充てんとするものなり。然らば以上の目的を達する爲めに、労働黨は如何なる方便に依頼するやと云へば、政治上の手段の如き、固より其否む所に非ず、寧ろ労働者の産業的組織を援助するに、政治上の行動に依る立法的計畫を以てせんとするものなり。而して智的労働者も亦一般労働運動に加ふるの一事は、財政上の新計畫に於て、大なる諸階級の利害關係を同一體に化せんとするの方針に依て、之を知るを得べし。即ち曰く如何にして戰時に於ける財政上の負擔が國民に依て荷はるゝか、又如何にして必要なる収入が國庫に收めらるゝやの問題に就ては、大



なる政治上の争議を惹起するに至る可く、此問題に對して労働黨は書記、教員、醫師、牧師、中流の商工業者等労働者と同じく、少額の所得に依頼して生活する全人口の五分の四を占むる者の援助を要請せざる可からず。而して實際の財政策としては、家族の扶助に必要な費用を超過する所得に對して、直増税を賦課し、國債の償還に要する財源を得る爲めには、生存中并に死亡時に於ける私有財産に直接税を賦課し、大額の所得に對しては所得一磅に付き十六志乃至十九志の割合を以て課税し、資本徴課金の制度亦可なりと。

以上労働黨が其目的を達する手段として、舉ぐる所を見れば、必ずしも深く異とするものも存せず。其多くは現に行はる、立法を擴張したるの概あり。即ち最低賃銀を維持し、又最高労働時間を限定する爲めに、現に實施せられつゝ

政府の主要なる義務なりと。斯くて進んで近き將來に殺到せんとする失業の解決策として左の如き説明を試みたり。

復員又は講和の第一年に於て、失業の發生せんとする狀況に備ふるには、政府が直接に、或は地方團體を通じて、(a)都會、村落、鑛山所在地に三百萬磅の費用を以て、家屋を建築し、(b)學校の不足を補充し、教職員を雇入れ、(c)新道路を拓き、(d)輕便鐵道を敷設し、(e)鐵道運河の組織を統一し、(f)植林を行ひ、土地を開墾し、(h)港灣を改修し、(i)土地を開墾する等の諸公共事業を企劃す可く、尙ほ労働市場が失業者の増加する勢に依て、壓迫せらるゝの恐あらんか、(a)義務教育の年限を十六歳に引上げ、(b)中等以上の學校に於ける奨學給與金の制度を擴張し、(c)八時間以内に青年労働者の労働時間を短縮し、彼等をして晝間技

ある諸法律の範圍を擴張し、單に失業を救済するを以て、足れりとせず、之を根絶するに至らんか、略ぼ其目的を達したるものとす可し。即ち曰く近代の産業社會に於て、其手を以てすると頭腦を以てすると問はず、苟も労働を爲す意思を有する労働者の爲めに、標準賃銀の支拂はるゝ生産上の仕事を見出すを以て、政府の至上の義務とするは、労働黨の根本主義とする所なり。即ち政府は從來失業を其起るに任せ、而して失業の起るや、失業者救済の爲めに、無用の勞費を投ずるの常なりしが、寧ろ政府は組織的に失業の發生を防遏するを以て勝れりとす。政府にして意を用ひんか、官設工事、諸官廳并に地方自治體の註文を調節し、一年を通じて、全國に於ける労働に對する需要を畫一の狀態に維持するを得べく、景氣の好悪を問はず、現に職業に就く者の數に生ずる變動を防止するは、

藝學校に於て、修學せしむ可く、最後の方法としては、成年労働者に對して、其標準賃銀を維持しながら、労働時間を四十八時間以下に短縮するの策を行ふを得べし。蓋し一部の労働者が失業しつゝあるの時に、他の一部の労働者が長時間の労働に従うが如きは、經濟上より云ふも、又他の方面より見るも、之を正當とする理由なきを以てなり。

労働黨が斯る綱領を發表せるに就ては、自ら一場の歴史あり。即ち綱領發表の十八個月前チヨージ、ランスバリー氏を首領とする一團は倫敦へラルド紙上に社會改造の要項を發表したるが、此要項こそ十八個月後に或る訂正を経て、労働黨の綱領として世上に公けにせられたるものなり。今所謂ランスバリー、ヘラルド綱領なるものを引抄すれば實に左の如し。

富の徴發并に所得の均等

(a) 土地私有者并に資本家を廢棄し、個人的辛

勞に對して、相當の報酬を與ふるの外、何等

の賠償を支拂はざること。(b) 男女労働者にし

て労働の意思を有する以上は、彼等を要する

何等の仕事の存せざる場合に於ても、恰も兵

卒が戦争に従はずして、尙ほ給與を受くるが

如く、賃銀を支給せらるゝものとし、且つ總

て男女労働者に對して、同額の支拂を爲すも

のとする事。(c) 現在の資本的生産組織に代

うるに、國有事業の下に労働者の經營に參加

する制度を認むること。(此方法は直に鑛山、

鐵道、造船海運、電燈、電力、瓦斯、水力等

に適用せらる可し。)(d) 國家は鑛山、鐵道、船

舶、土地等を所有したる後、之を職工組合に

貸渡し、且つ組合員をして現在の貨幣價值に

於て一日に付き一磅の最低實質所得を獲得せ

しむるの條件を付すること。

### 男女の經濟的獨立

全國の産業が前項に述べたる基礎に據て、組

織せらるゝ時期の到來するまで、前項に包含

せられざる産業の労働者は家庭の雇人等と共

に、下に掲ぐる方法の一以上に依て、生活の

標準を保證せらる可し。(a) 國家に收用せられ

ざる資本家の利潤に賦課したる徵課金の收入

に依て、最低賃銀を保證すること、(b) 兵卒の

家族たる婦人兒童に對しては、現在の戦争に

於ける手當金を繼續し、且つ増加すること、

(c) 懷妊惠與金并に學齡以内に於ける兒童養育

費を増加すること、(d) 養老年金を加重し、年

金權を生ずる年齢を低下すること、(e) 生活費

の増加するに隨ひ、戦争年金其他の年金を改

正すること(f) 濠洲、加奈陀、新西蘭の標準ま

でに兵卒の給與を引上ぐる事。

上記の綱領は、三個の原則に基礎を置きたる

に有利なる生産組織を行はしむるを得べし。一

方に生産方便の國有あり、他の一方に組織ある

労働が産業を管理して、始めて産業社會に於け

る個人的自由の唯一の保證たる可きなり」と。

以上の綱領は之を後に労働黨の發表したるも

のに比較すれば、大に趣意の明瞭なるを稱する

を得べし。其進んで、上院を廢止し、之に代つ

て各種職業團體の代表者を以て一院を組織する

ことを主張し稱號、榮典の廢止を要求し、各國

人民をして自由に世界の通商并に原料品に接近

せしむることを唱道したるが如き、特に注目を

要する所なり。

### 三

前項に擧げたるが如き社會改造の諸要件は近

代の國家に於て、實行し得べきものなりや否や。

此問題を研究するには、左の四點に注目せざる

可からず。

ことを認めざる可からず。第一は共同の利益の

爲めに、私人の富を沒收する社會權にして、恰

も今日國家が公共の利益の爲めに、私人の生命

を徵發するものと異ならず。第二は富の平等并

に生産に對する能力の相違に拘はらず、男女に

對する經濟的獨立に關する社會的希望にして、

第三は直接に事業に關係ある労働者自身に依て

事業を經營し、管理すること是れなり。ランス

パリー、ヘラルド綱領の一部に曰く吾人は總て

の労働者に對して、相當の生活の維持せらるゝ

所得を保證せざる可からざるのみならず、仕事

が治者階級の下に行はるゝ賤役たるに止まるの

状態を一新せざる可からず。労働者自ら産業の

管理權を掌握することに依て、労働者は日常の

労働に於て、自由を收むるを得べし。産業の國

有は労働者をして官僚的機關の訓練に服従せし

むるものに非ず、却て職工組合を通じて、一般

第一、前記諸計畫の多くは英國に於て、將た又歐洲大陸の交戦諸國に於て實行せられ、四年の實驗を経て、合衆國に實行せらるゝものもあり。而して開戦の當初に想像せられたるよりも結果の良好なるを得たるは、明白の事實にして、唯問題とする所は戦時の計畫として實行せられたるものが平時の計畫たるを得るや否やの一點に外ならず。第二戦時急迫せる事情の下に、平和時代に實行せられざる計畫に可能性を與へたる狀況は一に心理的要素に基くものなり。戦時に於ては社會は燥急の意思を以て事を決すれども、平時に於ては、其決定自ら遲鈍ならざるを得ず。第三若しも勞働者の多數にして集産的計畫例へば、鐵道、船舶、鑛山、石炭分配、代價公定等が戦時に於て生じたと同一の結果を平時に於て生ぜざるものと信ずるも、尙ほ彼等は戦時の計畫として、慣熟したる強制を施すに躊

躇せざる可し。如何となれば一般人民は國家が國の防護の爲めに、私人を強制して、其生命すら、之を擲たしむるの事實を目撃したり。隨て事情の必要とする場合には、國の安寧を維持する爲めに、財産家をして其財産を放擲せしむるも、亦不可ならずとする思想を生ずるは、當然にして、軍事に於ける兵役の徵募は富の徵募に對して、一の先驅を爲せるものなるのみ。第四既往數年間生命を危険なる境地に置きたる數百萬の青年、夫や愛人を失ひたる多數の婦人は社會改良の爲めに行はるゝ急進的計畫が商業や人心の安全や、富者の社會的幸福を傷くるの恐れありとするも、決して躊躇するものに非ず。新選舉區に横溢する戦後の心理は社會的實驗に於て、大膽と冒險とを要求して已まざるなり。

集産主義即ち生産分配交換の諸方便を社會に於て所有し、且つ之を支配するの主義は戦時に先だつ二三十年間、西歐の文明諸國に於て夙に主張せられたる所なり。而して此理由に據り、瓦斯、水道、市街鐵道は歐洲諸國に於て多く市有と爲り、鐵道も亦國有に歸し、殊に濠洲、新西蘭に於ては公益事業に對する國家監督は一の主義を以て目せらるゝに至れり。然も事業より生ずる利益を一定の限度に制限し、承認せられたる生活標準を超過する剰餘は先づ社會に屬す可く、個人に屬す可からざるの原則は容易に認めらるゝに至らざりき。然るに戦争は此般の事情を一新し、集産主義の實行を不可能としたる總ての議論は忽にして消滅し去り、英國政府は開戦後二十四時間内に於て、多年來自國の實際家が國民の能力并に安寧に致命傷を與う可しと論じたる所を實行し、先づ鐵道を國家の管理に移し、爲替手形の支拂を保證し、海上保險の制度を國家的企業としたり。即ち私人資本家は國

家に依て救助せらるゝと共に、國家に依て、監督せられ、資本は政府の認可を経て、放下せられ、爲替の調節亦政府の職務と爲り、此職務を遂行する爲めに、外國有價證券にして、私人の財産たるものは國家の徵發する所と爲り、一方に石炭船舶は事實上國家に依て支配せらるゝと共に、國家は砂糖、小麥、或る種類の金屬并に原料品の輸入を獨占し、其代價を公定し、其分配を管理し、續ひて毛織物、皮革、被服、靴、屠獸、麵麩製造の諸業亦國家の指令を受くるに至れり。

即ち以上は國有主義若しくは集産主義が着々實行せられたる實例にして、實際家の如きは、閑散なる時代に、如何なる注意を施して、是等の主義を實行せんとするも、結局實行不可能なるか、然らずんば有害なることを切言したるに拘はらず、戦時經濟上に社會上に幾多の變動の



起れる際に行はれて、成效を示したるは、著しき事實なりとせざる可からず。

ランスバリー、ヘラルド綱領は既に之を掲げたるが、同綱領に於て重きを置く所は富の完全なる徴發と所得の平等との二者なり。而して所得の平等と稱するは、一日一磅の割合を以て、國民的最小賃銀を要求するものにして、此問題に就ては立案者自ら左の如き説明を試みたり。

最低所得法定の制度の實行し得らる可きものなるや否やの問題に就ては、戦争當時に於ける經濟上の事實に據り、其實行し得らるゝものなることを主張せんとす。蓋し戦争中國家は一日八百萬磅の割合を以て戦費を費したり一方に戦争に従事せざる者を維持するに必要なる富は約八百萬人より多からざる労働者に依て、生産せられたるものなり。平和時代に於ては、生産労働者たる用を爲す可き者は男

人々は戦後更に良好なる家屋を建築し、食物原料品を生産するに必要なる復舊事業に當り労働者の増進する消費に應ずるに必要なる生産力の増加を企つるに忙はしからざる可からざるや、論を俟たず。

要するに現時の教育訓練を以てするも、物資并に能力に於ける國民的富源を統一調整して以て生産を増殖するを得るの程度は既往に於けるよりも、將來に於て大なることを認めざる可からず。蓋し從來戦争の爲めに、兵卒と爲れる五百萬人の労働者や、軍需品の製造に従ひたる二百萬人の労働者は相率ひて生産事業に復歸し殘餘の労働者と共に、労働に就かんか、以て高き生活程度を維持するに、難からざるなり。

斯く論じ來るときは、吾人はエルワード、ミード氏がメトロポリン雜誌に於て、濠洲の國家社會主義に就て、論述したる所を回想せざるを

得ず、左に之を引抄す可し。

吾人は此國の制限せられたる政府の行動と濠洲并に新西蘭に於ける民主的政策とを比較して、粗雑にして、運用に適せざる立法が如何に誤れるものなるやを明にす可し。兩殖民地に於ける民衆の監督は英國に於けるよりも遙に直接に行はるゝのみならず、政治は産業上社會上の行動に重きを置くの觀あり。濠洲并に新西蘭に於ては、政府は鐵道、電信、電話、通運郵便の諸事業を經營し、灌漑、水道亦政府に屬し炭礦の如き、製材の如き政府の經營に係る。是れ石炭并に木材の獨占に依て、課せらるゝ高率の代價に制限を加ふるの必要に基けるものなり。此他國家は船渠、碇繋場を所有し、造船所、冷蔵倉庫を所有し、大規模の運送業者に對すると同様の便宜を小規模の運送業者に與へんとし、一方に歐洲に腐敗し

易き貨物を輸送するに就て、汽船の線路を特約し、牛酪、鮮肉、菓實を輸送するに、一定の標準に據らしむ。

國家の信用が地方團體の水道敷設を助くるの點は特に注目す可きものあり。例へば或る小都會に於て、水道の敷設を希望する場合には中央政府は熟練なる技術家を任命して、一切の計畫を立案し、其經費、收入、負債償還能力を調査せしめ、一方に是等の計畫が完成したる場合には、政府は公債を發行して、之を成就するに要する費用を供す可く、人口二千五百乃至五千の小都會にして容易に水道の便宜を享くるを得るなり。

吾人の目的とする所は生産と分配との間に同一の歩調を保たしめんとするものに外ならず。戦争は實に如何なる形態の社會主義にも必要な準備を供し、生産分配の諸方便を共同的に所

有し、管理することの實行し得らるゝ事實を證明したり。固より戦争に依て、國家の得たる權能は人民を奴隸化するの目的に供せらるの恐あるや、論を俟たず。隨て集産主義を解放の方便に充つるものと、國家に大なる強制的權能を與ふるの具とするとの間に、争鬭の盛なるは、之を免かるゝ能はざる可し。

### 都市計畫と米國 商業會議所(上)

根 本、清 六

米國に於ける商業會議所の近狀は、その政府をして『商業會議所本來の職責としては、その地域内に存する産業の調査、指導、啓發を主とすることは勿論であるが、その實行は却て社會

問題の解決、都市政策の計畫等に重きを置くの觀がある』と曰はしめたるが如く、亦、かの大英百科全書をして『クリーブランド市の如きは、都市の自治行政としては、最も發達し、且つ成功せるものであるが、その故、一は市民が公共觀念の發達せるにも依るけれ共、他の最も大なる理由としては同市商業會議所の力に依れることを忘れることが出来ぬ』と評せしめたるが如く、米國に於ける商業會議所が單に受動的消極的の事業のみにては満足せず、常に商工業の利益増進と、市民の福祉擁護とに向つて活動してゐるは顯著なる事實である、就中、クリーブランド商業會議所に至ては、本來の職責に努力すると共に、常に何等かの新しき試みを企て、都市問題解決の衝に當り、北米各都市の當事者から注目されつゝあるのみである、今、本稿は Kenneth Stuges 氏の 'American Chambers of Com-

Here なる書中、その第七章より第十一章に至る間の抄録で、原文の順序に準據して、初め、稿をクリーブランド商業會議所の都市事業に起し、次で各地商業會議所の活動に及ぶ考であるが、素より斷墨零簡的の抄録に止まるが故に、世の商業會議所研究に志を抱く人々、都市問題に意を注ぐ人々の參考になるかどうかは頗る疑はしい、尤も、商業會議所そのものゝ研究に就ては、稿を改めて見ゆるの機會があると思ふ。

#### 二

クリーブランド商業會議所は、近世式商業會議所の模範として、廣くその名を傳へられてゐる、従て一般商工業者の活動機關としても又市民の公營機關としても、絶えず興味ある研究の題材となつてゐる。曾ては米國の最も有力なる三十餘個所の、商業會議所書記長等が、辭を揃へて、クリーブランド會議所を以て、最も都市